

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年2月25日(2021.2.25)

【公表番号】特表2020-528962(P2020-528962A)

【公表日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2020-040

【出願番号】特願2020-514207(P2020-514207)

【国際特許分類】

C 08 F 4/658 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 4/658

C 08 F 10/00 5 1 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年1月15日(2021.1.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

塩化マグネシウム系担持体上のTi化合物及び任意選択的に電子供与体を含む、 $\text{C}_\text{H}_2 = \text{C}_\text{H}_\text{R}$ オレフィン(ここで、Rは、水素または1~12個の炭素原子を有するヒドロカルビルラジカルである)(共)重合用固体触媒成分の製造方法であって、前記方法は、化学式(MgCl_mX_{2-m}) $\cdot nLB$ (ここで、mは、0~2の範囲であり、nは、0~6の範囲であり、Xは、独立的にハロゲン、R¹、OR¹、-OCOR¹またはO-C(O)-OR¹基であり、R¹は、C₁-C₂₀炭化水素基であり、LBは、ルイス塩基である)のMg系化合物を、少なくともTi-C1結合を有するTi化合物をTi/Mgモル比が3を超過する量で含む液体媒体と反応させる、0~150範囲の温度で実行される1つ以上のステップ(a);及び前記ステップ(a)から生成される固体生成物を10~100範囲の温度で炭化水素を含む液体媒体中に懸濁させる少なくとも1つのステップ(b)を含み、前記方法は、

前記ステップ(a)及び/または(b)中の少なくとも1つのステップが、Mg化合物の量に対して0.2~20.0重量%の固体化合物の粒子の存在下で実行されること、及び前記固体化合物が50重量%超過のSiO₂単位を含みそして1~100μm範囲の平均粒径を有することを特徴とする、方法。

【請求項2】

50重量%超過のSiO₂単位を含む前記固体化合物が1~30μm範囲の平均粒径を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

50重量%超過のSiO₂単位を含む前記固体化合物がシリカ、ケイ酸塩及び珪藻土から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

50重量%超過のSiO₂単位を含む前記固体化合物がタルクである、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

50重量%超過のSiO₂単位を含む前記固体化合物の量がステップ(a)で使用され

るMg化合物の量に対し、0.5～10重量%の範囲である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

50重量%超過のSiO₂単位を含む前記固体化合物がステップ(a)で存在する、請求項1に記載の方法。

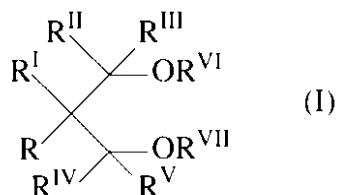
【請求項7】

50重量%超過のSiO₂単位を含む前記固体化合物がステップ(b)で添加される、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記ステップ(a)で、任意選択的に置換された芳香族ポリカルボン酸のアルキル及びアリールエステル、マロン酸のエステル、グルタル酸のエステル、マレイン酸のエステル、コハク酸のエステル；ジカルバメート、モノエスチルモノカルバメート及びモノエスチルモノカーボネートから選択されるジオール誘導体；及び下記化学式(I)の1,3-ジエーテルからなる群より選択される電子供与体化合物を使用することをさらに含む、請求項1に記載の方法：

【化1】



(前記式において、R、R^I、R^{II}、R^{III}、R^{IV}、R^V及びR^{VI}は、互いに同一であるかまたは異なり、水素または1～18個の炭素原子を有する炭化水素ラジカルであり；R^V及びR^{VI}は、互いに同一であるかまたは異なり、R^V及びR^{VI}が水素であってはならないということを除いては、R～R^Vと同一の意味を有し；R～R^V基中の1つ以上は結合されてサイクルを形成することができる)。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

したがって、本開示の目的は、塩化マグネシウム系担持体上のTi化合物及び任意選択的に電子供与体を含む、CH₂=CHRオレフィン（ここで、Rは、水素または1～12個の炭素原子を有するヒドロカルビルラジカルである）の（共）重合用固体触媒成分の製造方法であって、上記方法は、化学式(MgCl_mX_{2-m})·nLB（ここで、mは、0～2の範囲であり、nは、0～6の範囲であり、Xは、独立的にハロゲン、R¹、OR¹、-OCOR¹またはO-C(O)-OR¹基であり、R¹は、C₁-C₂₀炭化水素基であり、LBは、ルイス塩基である）のMg系化合物を、少なくともTi-C1結合を有するTi化合物をTi/Mgモル比が3を超過する量で含む液体媒体と反応させる、0～150範囲の温度で実行される1つ以上のステップ(a)；及び上記ステップ(a)から生成される固体生成物を10～100範囲の温度で炭化水素を含む液体媒体中に懸濁させる少なくとも1つのステップ(b)を含み、上記方法は、上記ステップ(a)及び/または(b)中の少なくとも1つのステップが、Mg化合物の量に対して0.2～20.0重量%の固体化合物の粒子の存在下で実行されること、及び前記固体化合物が50重量%超過のSiO₂単位を含みそして1～100μm、好ましくは1～30μm範囲の平均粒径を有することを特徴とする、方法を提供する。